

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

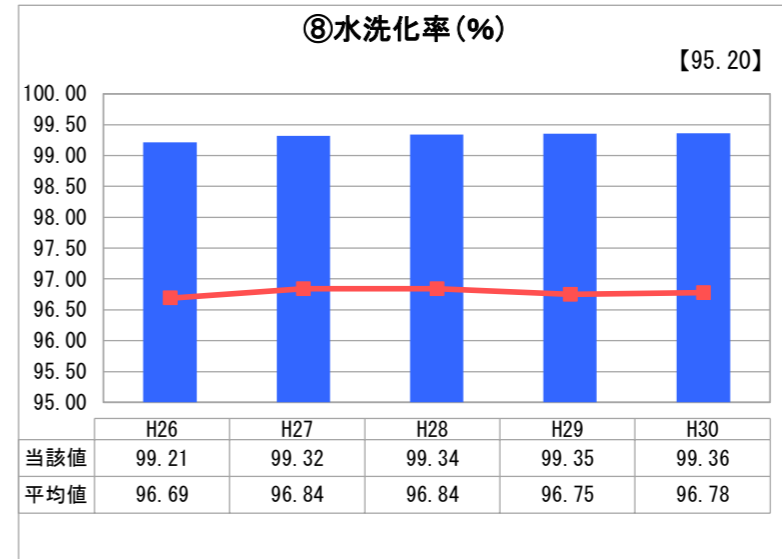
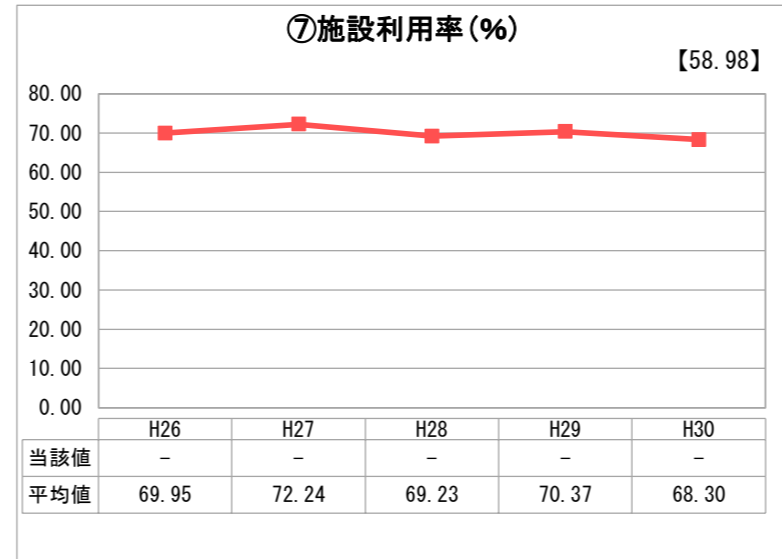
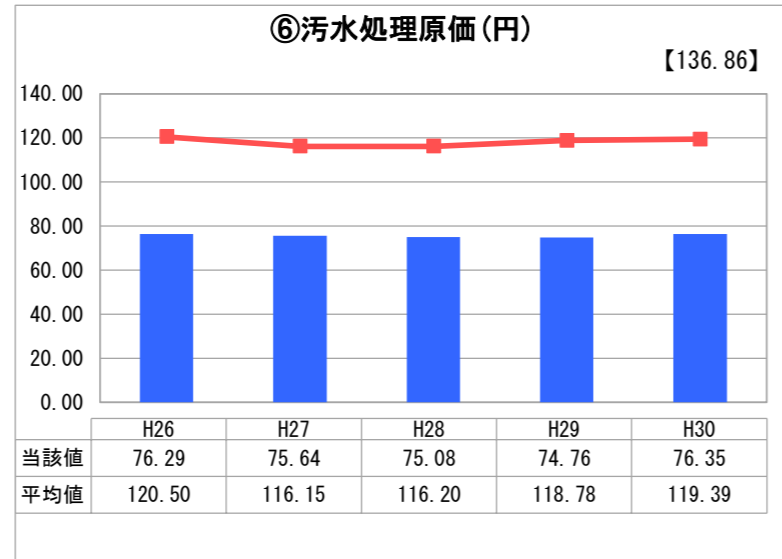
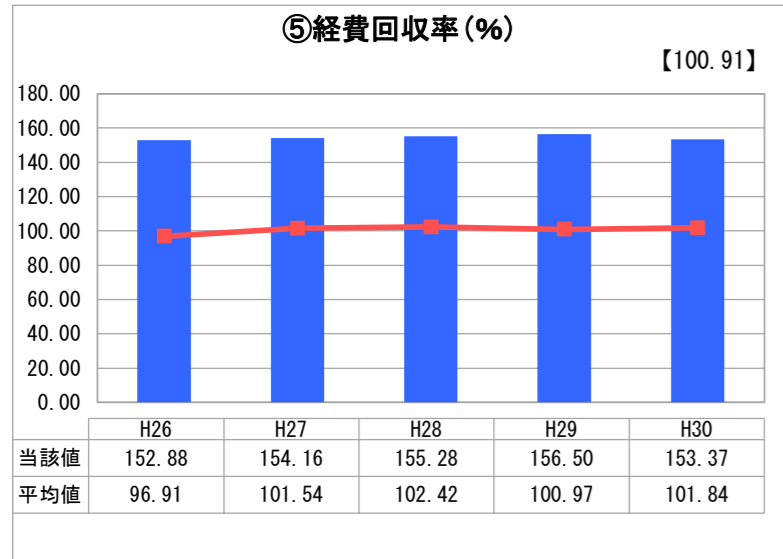
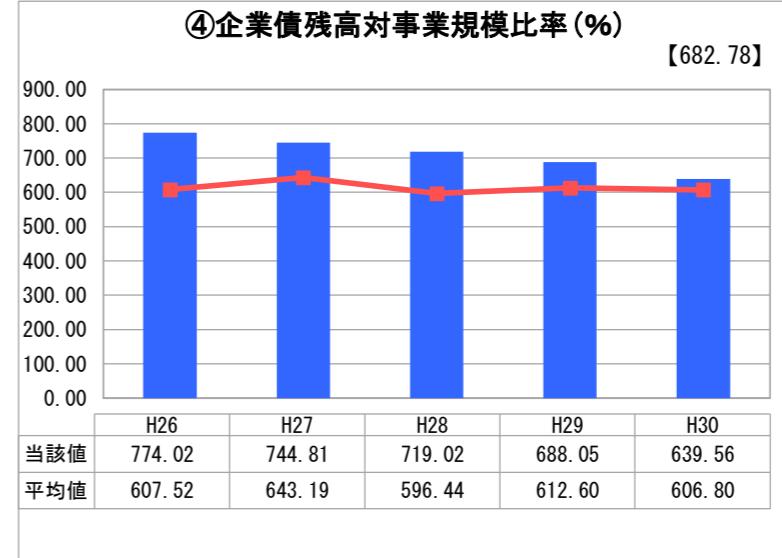
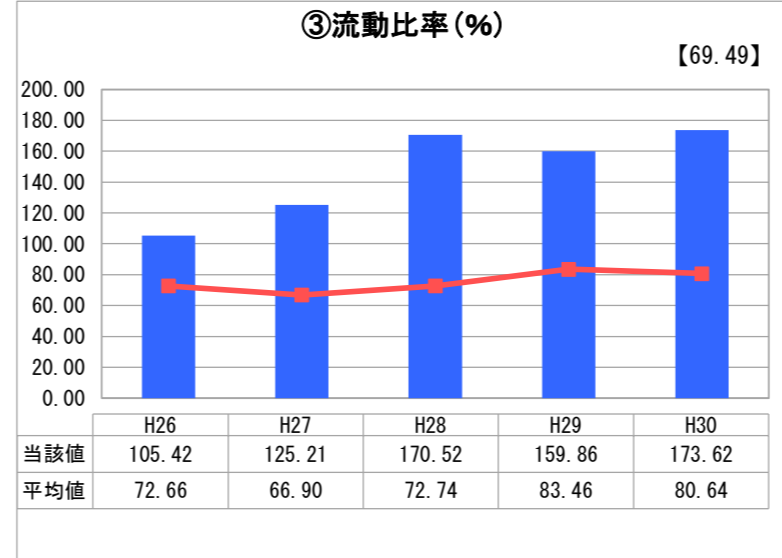
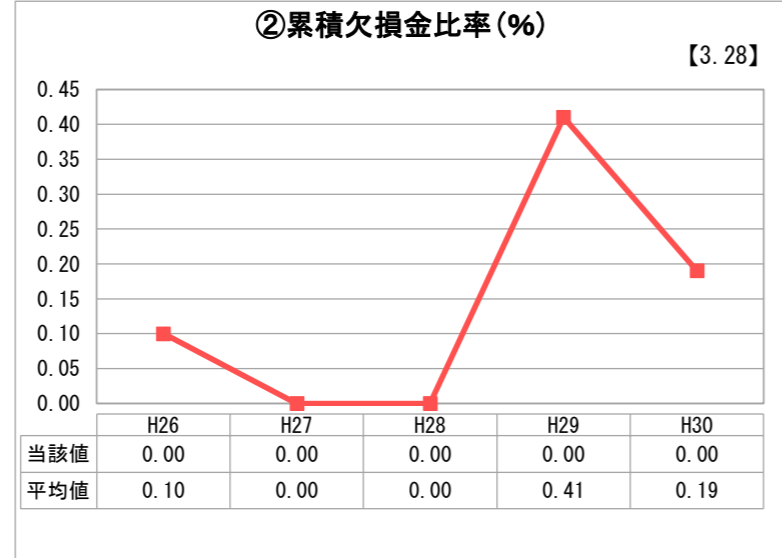
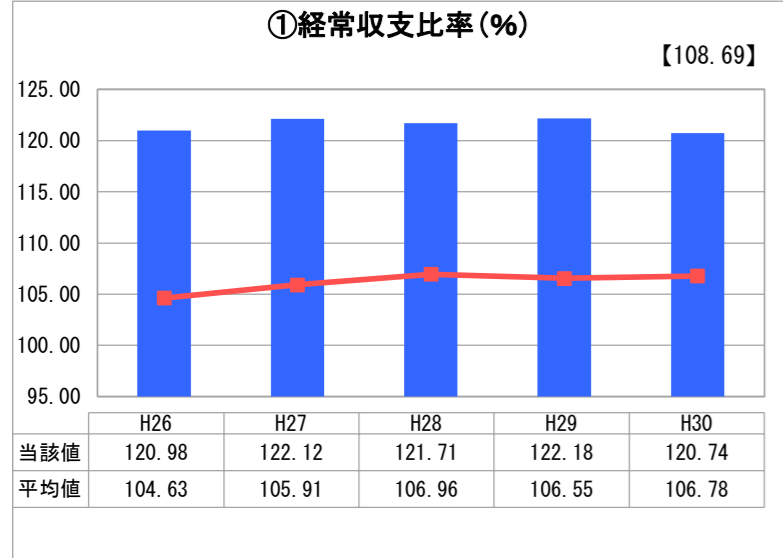
兵庫県 川西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	67.57	99.56	80.00	2,106

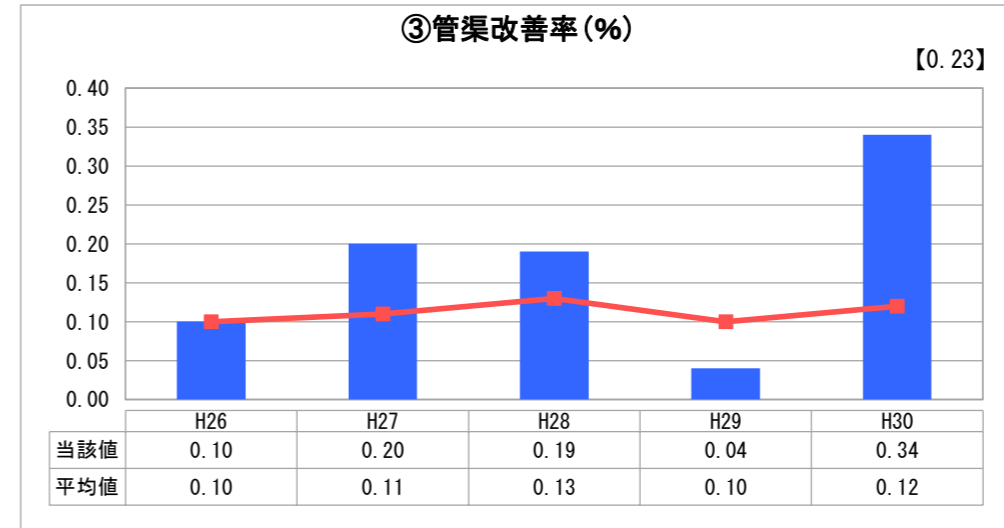
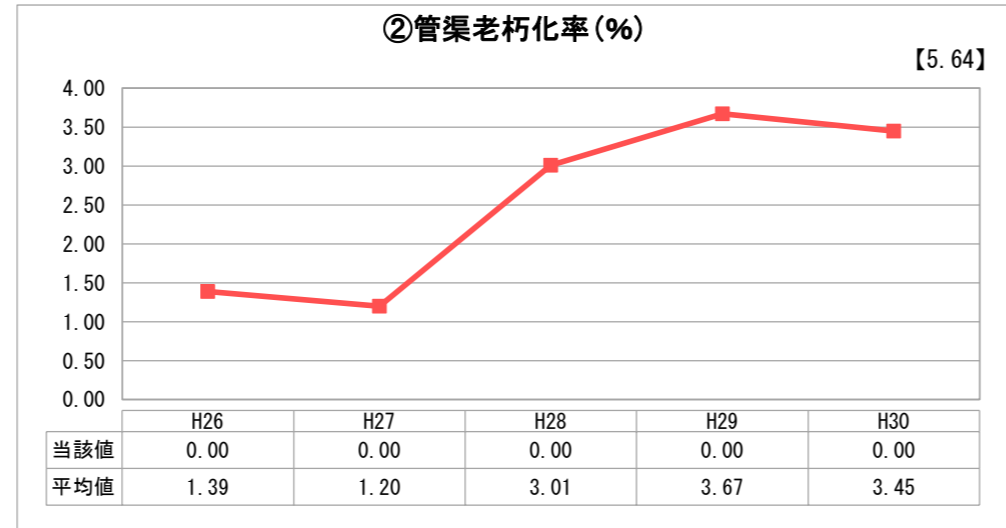
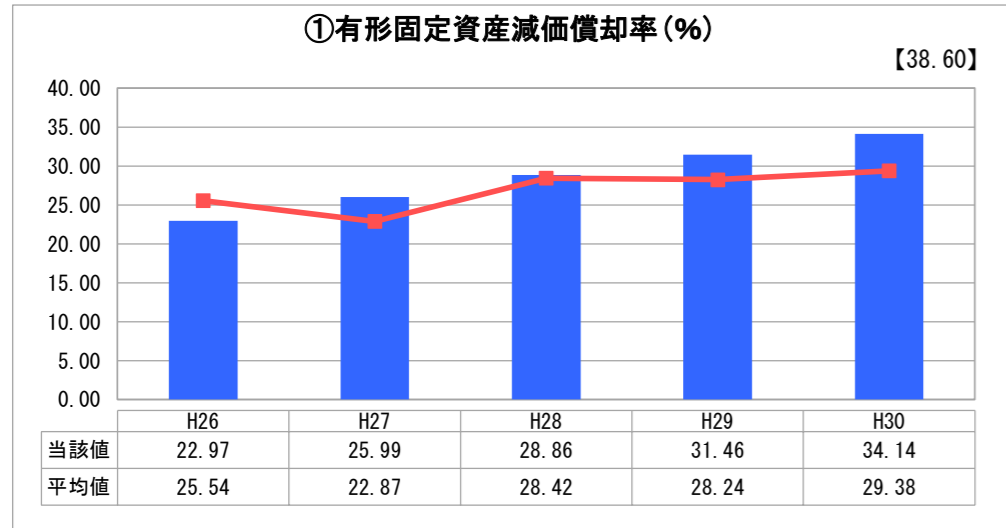
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
158,003	53.44	2,956.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
157,090	17.69	8,880.16

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

川西市は、広域的に運営している猪名川流域下水道事業に参画しているため、平成30年度の⑥汚水処理原価は76.35円/m<sup>3</sup>で類似団体の平均値より43.04円/m<sup>3</sup>安く、⑤経費回収率は153.37%と、全て使用料で回収すべき経費を賄っており、①経常収支比率も120.74%で黒字経営であり、③流動比率も173.62%と短期的な支払能力を確保できている状況です。

しかし、これまでの設備投資は、主に企業債、国庫補助金、市からの繰入金などの財源によって賄われてきたため、④企業債残高対事業規模比率が639.56%と減少傾向ではあるものの高い数値であり、企業債残高が多額なことが課題となっています。

また、これまで管渠を整備した結果、平成30年度の⑧水洗化率は99.36%となり、衛生的な生活環境の向上や公共用水域の水質保全に貢献しています。

### 2. 老朽化の状況について

現状の管渠老朽化率は0%ですが、昭和40年代に開発された大規模団地をはじめとし、多くの管渠がまもなく耐用年数を超過することとなります。

そのため、ストックマネジメント手法を導入し、中長期的な将来予測を行い、施設の維持管理と更新工事を実施していくとともに、現在行っている長寿命化工事や、日常の点検業務を継続していきます。

### 全体総括

これからも管渠の更生工事や施設の長寿命化工事などを継続して行うために、財源としてはこれまでどおり国庫補助金や企業債などを活用していきますが、利益剰余金の処分や減債積立金の取崩しを行うことで、企業債残高の減少を図って、健全な経営を目指していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。